

## 国語科学習指導案

- 1 日 時 令和2年9月10日(木) 第5校時
- 2 学 年 第3学年1組 男子8名 女子10名 計18名
- 3 単元名 知って！話して！まとめよう！話し合いのコツ  
「グループの合い言葉をきめよう」
- 4 単元設定の理由

・単元観

国語科の目標や評価の観点は次のように示されている。

### 小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第2 各学年の目標及び内容 〔第3学年及び第4学年〕 1 目標」

| (1)  | (2)  | (3)   |
|--|--|---|
| 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 | 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 | 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 |

### 評価の観点 <小学校 国語>第3学年及び第4学年

| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|---|---|--|
| 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめている。 | 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをまとめたりしながら、言葉がもつよさに気付こうとしているとともに、幅広く読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。 |

本単元は、「話すこと・聞くこと」において、「目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。A(1)オ」に関連し、グループの中に司会を立て、その進行に沿って協働的に話し合うことをねらいとしている。

本教材は、これまでに児童が経験してきたさまざまな学習場面や学級活動におけるグループでの話し合い活動から課題を見つけ、話し合いの進め方や話し合いで重要な役目を果たす司会の役割を知ったり、話し合いの中で出てくる意見をメモなどに書き留めて整理したりすることで、司会の進行に沿って話し合いを行い、物事を決定していく力を付けることができる。また、他教科の学習活動や学級活動などにおける話し合いの場面でも活用することができる教材である。

## ・児童観

本学級の児童は、全体的に落ち着いており、静かに話を聞くことができる。また、前学年の国語科「あそびのやくそくを話し合おう」の単元において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けた話をつなぐという学習をしている。しかし、授業や生活の中の話し合いの場面をみると、一定の児童が発言し、話し合いがないままその意見に決定したり、複数の意見が出された時にとどちらにも決められなかったりといった場面が見られる。児童アンケートによると、「最後まではっきりと話すことができる」と答えた児童は55%、「理由をつけて話すことができる」と答えた児童も55%で、自信をもって発言して話し合うことができる児童が少ない。(表1)

昨年度実施した標準学力調査の結果では、「大事なことを落とさないように聞き取ることができる」児童は97%、「話題に沿った質問をすることができる」児童は60%であった。話の概要を聞き取ることにはできているが、相手の発言を受けて話をつなぐことが苦手な児童がいる。

(表1 児童アンケート結果 5月)

| 児童アンケート                                      | 肯定的な回答の割合 (%) |
|--|---------------|
| 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか。            | 66            |
| 似ているところや違うところを比較し、自分の考えをもったり、聞いたりすることができますか。 | 27            |
| 自分の意見や考えに、その理由をつけて話すことができますか。                | 55            |

## ・指導観

「課題との出会い」の場面では、これまでの話し合いの場面を想起させ、自分たちの話し合いの良い点や改善すべき点を明確にするとともに、「知って！話して！まとめよう！話し合いのコツ」というグループでの話し合いのことが全てわかるリーフレットを作成するというゴールを示すことで学習意欲を高めたい。

「課題設定」の場面では、話し合いのもととなる「合い言葉」の意味を理解させ、イメージをもたせた上で、自分たちの生活の中から必要感のある話題を決定させる。その際、学校行事や授業中、遊び時間、係活動、給食の時間など、さまざまな場面に目を向けさせるようにする。

「課題解決」の場面では、教科書をもとにして話し合いの流れを確認し、司会者と参加者の立場に分けて、その役割や話し合うときに使う言葉をリーフレットにまとめさせたり、まとめたものを使ってペアで話をさせたりして、共通点・相違点の分類やメモを書き留める力を身につけさせる。

育成すべき資質・能力の三つの柱との主な関連

主体的に学習に取り組む態度



知識・技能



「表現」の場面では、学級を3グループに分け、1グループは審査員として2グループの話し合いの様子（司会者の話している言葉、話し合いの流れ、参加者の話している言葉）を評価させ、客観的に見ることで、互いの意見の共通点や相違点に着目して話し合いを進める良さを感じさせる。また、司会者には、「進め方シート」に沿って話し合いを進めさせたり、参加者には、あらかじめ議題に対する自分の考えと理由を付箋に書かせたり、「聞き取りメモ」を使って自分の意見と似ているものや良いと思った意見をメモさせたりすることで、互いの意見の共通点や相違点に着目して、意見をまとめられるようにする。審査員は、審査する視点が書かれてあるシートを見ながら、他のグループの話し合いを司会者または参加者の立場で客観的に見ることを通して、これからの自分に活かしたいことを見つけさせるようにする。

「まとめ・振り返り」の場面では、今後の生活や話し合い場面で活かすために、実際に行った話し合いの中で、「話し合いのコツ」として残しておきたいことやこれから気を付けたいという課題をリーフレットに書かせる。また、自分が単元の前半に立てた話し合いに対する目標を達成できたかどうかを振り返らせ、互いに交流する場を設けることで、話し合いが上達したことを実感させるとともに、これからの話し合い活動に対して意欲をもたせる。

育成すべき資  
質・能力の三  
つの柱との主  
な関連

思考・  
判断・  
表現



主体的に  
学習に取り  
組む態度

## 5 単元の評価規準

| 知識・技能                                 | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|---------------------------------------|--|--|
| ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。(2)イ | ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えるために必要な事柄を選んでいる。A(1)ア<br>◎「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。A(1)オ | ・これまでに学習したことや話し合いの経験を生かして学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、積極的に、司会などの役割を果たしながら、グループで話し合おうとしている。 |

6 指導と評価の計画（全8時間）

| 次         | 学習内容  | 評価規準   | 評価方法                               |
|-----------|---|--|------------------------------------|
| 一         | <p>○これまでに経験してきたグループでの話し合いや学習活動を想起して話し合い活動の課題を見つけ、単元の計画を立てる。</p> <p>○合い言葉を作って取り組みたいことを決め、自分の意見をもつ。</p>   | <p>○これまでに学習したことや話し合いの経験を生かして学習課題を明確にし、学習の見通しをもっている。(主)</p> <p>○目的を意識して、日常生活の中から話題を選び、それに対する自分の意見と理由を付箋に書いている。(思・判・表)</p>   | <p>発言・行動観察・リーフレット・付箋</p>           |
| 二         | <p>○話し合いの進め方を知り、司会の役割とその仕方を考える。</p> <p>○話し合いの進み方に沿って、参加者が気を付けることを考える。</p>   | <p>○話し合いに必要な司会の役割やその仕方を理解している。(知)</p> <p>○話をまとめるために参加者が気を付けることを理解している。(知)</p>  | <p>発言・行動観察・リーフレット</p>              |
| 三         | <p>○テーマについて、司会の進行に沿って話し合い、よかったことやこれから気を付けたいことを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ①</li> <li>・テーマ②③</li> <li>・テーマ④⑤</li> </ul> | <p>○司会者として、話し合いの目的や進め方を確認し、意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(思・判・表)</p> <p>○参加者として、司会者の進行に沿って話し合い、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめている。(思・判・表)</p> <p>○審査員として、審査する視点に沿って話し合い活動を観察し、話し合いの良さや改善点に気付いている。(知)</p> | <p>発言・行動観察・進め方シート・聞き取りメモ・審査シート</p> |
| 本時<br>2/3 |   |  |                                    |
| 四         | <p>○単元の学習を振り返り、これからのグループでの話し合いや学級活動への意欲をもつ。</p>   | <p>○学習で学んだ話し合いのこつやこれからの話し合い活動でしてみたいことを積極的に伝えようとしている。(主)</p>  | <p>発言・行動観察・リーフレット</p>              |

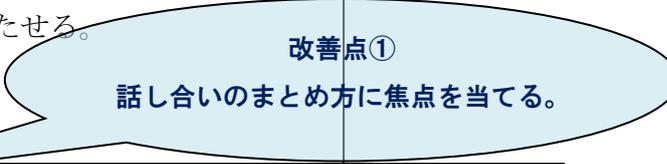
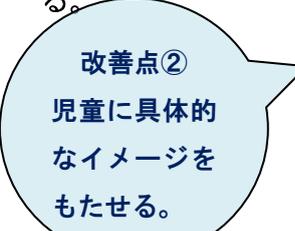
7 本時の展開

- ・本時の目標 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 A(1)才

| 学習活動  | 指導上の留意事項  | 評価規準（評価方法）  |
|---|---|---|
| 1 課題意識をもつ。<br><br>2 本時のめあてを確認する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合う話題や自分の役割を確認し、見通しをもたせる。</li> </ul>   |   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             レベルアップポイントに気をつけて、「合い言葉」をきめよう。           </div>   |   |   |
| 3 司会の進行に沿って、「合い言葉」を考え、まとめる。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             ① 前半のグループが話し合う。<br/>             ・A, B が同じ話題で話し合い、Cは審査員をする。<br/>             ② 前半の話し合いの良さを振り返る。(自己評価・Cからの気付き)<br/>             ③ 後半のグループが話し合う。<br/>             ・B, C が同じ話題で話し合い、Aが審査員をする。<br/>             ④ 後半の話し合いの良さを振り返る。(自己評価・Aからの気付き)           </div> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の話し合い活動の課題（レベルアップポイント）を確認し、めあてを焦点化させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">             (レベルアップポイントの例)<br/>             似ている所を見つける。<br/>             →「まとめる」に関わるもの           </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会には、話し合いの流れや大切な言葉を確認できるように「進め方シート」を持たせる。</li> <li>・参加者には、同じ意見や似ている意見、良いと感じた意見をメモさせる。</li> <li>・審査員には、審査する視点を明確にするために「チェックシート」を持たせる。</li> <li>・「合い言葉を決めることができたか」「レベルアップポイントはどうだったか」の結果と理由を考えることを通して振り返らせる。</li> </ul> | (司会)<br>○進め方に沿って話し合いを進め、参加者の意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(発言)<br><br>(参加者)<br>○互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(発言・ノート) |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             例 ・(レベルアップポイント)ができると合い言葉をきめることができる。<br/>             ・(次のレベルアップポイント)ができると意見をまとめることができそうだ。           </div>   |   |   |
| 6 本時を振り返り、次の時間につなげる。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットに話し合いのこつをまとめさせる。</li> </ul>   |   |

**※改善指導案**

- ・本時の目標 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 A(1)才

| 学習活動  | 指導上の留意事項   | 評価規準（評価方法）  |
|---|--|---|
| 1 課題意識をもつ。<br><br>2 本時のめあてを確認する。  | ・話し合う話題や自分の役割を確認し、見通しをもたせる。  |  <p><b>改善点①</b><br/>話し合いのまとめ方に焦点を当てる。</p>   |
| <p><b>話し合いのまとめ方に気をつけて、「合い言葉」をきめよう。</b></p>  |  |   |
| ・3つのまとめ方を確認する。  | ・前時までにでてきた話し合いのまとめ方を掲示しておく。  |  <p><b>改善点②</b><br/>児童に具体的なイメージをもたせる。</p> <p>①同じ言葉がたくさん出てきたら、その言葉を使ってまとめる。<br/>           ②2つにまとまったら、より目的にあった言いやすい言葉にまとめる。<br/>           ③意見がばらばらだったら、理由をよく聞いて目的にあっているかを確認する。あっていたら、短い言葉でわかりやすい言葉にまとまる。</p> |
| 3 司会の進行に沿って、「合い言葉」を考え、まとめる。 <div data-bbox="153 1055 552 1738" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>③ 前半のグループが話し合う。<br/>             ・A, B が同じ話題で話し合い、Cは審査員をする。</p> <p>④ 前半の話し合いの良さを振り返る。(自己評価・Cからの気付き)</p> <p>⑤ 後半のグループが話し合う。<br/>             ・B, C が同じ話題で話し合い、Aが審査員をする。</p> <p>⑥ 後半の話し合いの良さを振り返る。(自己評価・Aからの気付き)</p> </div> | ・司会には、話し合いの流れや大切な言葉を確認できるように「進め方シート」を持たせる。<br>・参加者には、同じ意見や似ている意見、良いと感じた意見をメモさせる。<br>・審査員には、審査する視点を明確にするために「チェックシート」を持たせる。<br>・「どんな話し合いでどのまとめ方をしたか」「合い言葉を決めることができたか」について振り返らせる。 <div data-bbox="552 1473 1190 1738" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 20px; margin-top: 20px; text-align: center;"> <p><b>改善点③</b><br/>めあてに沿って、話し合いのまとめ方と合い言葉を決めることができたかについてまとめる。</p> </div> | (司会)<br>○進め方に沿って話し合いを進め、参加者の意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(発言)<br><br>(参加者)<br>○互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(発言・ノート)   |
| <p><b>例 ・意見はばらばらだったが、まとめ方③の方法で話し合うと合い言葉をきめることができた。</b></p>  |  |   |
| 6 本時を振り返り、次の時間につなげる。  | ・リーフレットに話し合いのこつをまとめさせる。  |   |